

令和5年度島根県立大学短期大学部

一般選抜

保育学科 小論文問題

出題意図

2023年2月実施

出題意図

この文章は、子どもが育つ中でみられる「きっかけ（できごと）」が、子どもの育ちを支えていくために大事であると述べられている。筆者は、子どもの育ちゆく中には「生物学的な成熟」だけでなく「何かの“きっかけ（できごと）”がその子を変えていく」ということを発達理解の中に位置づけ、子どもの育ちを捉えることが大切だと主張する。子どもと暮らし、ともに生活をつくりだしていく保育という営みの中で保育者は、一人ひとりの子どもの“できごと”を想像し、育ちを支えることが求められている。

受験生はこの資料を読み、筆者の考えを理解し、一般的な見解を述べるだけでなく、自分で考え、自分の言葉で論述することが求められる。また、保育者を目指す立場から、この問題をどのように捉えるか、また、自らの考えを適切に文章で表現することができるかなどの観点から、保育学科のアドミッションポリシーに適した資質、適性を有しているかを評価する。